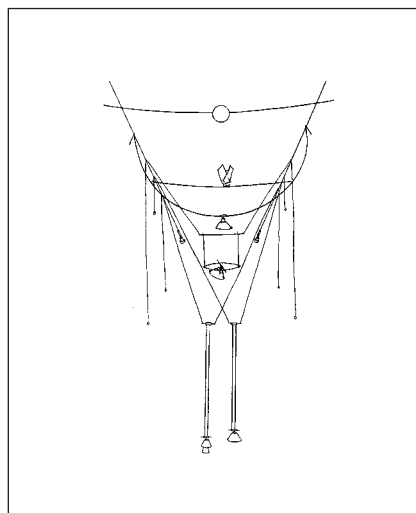


YaYaHo [LED]

[屋内用ライティングシステム]

- このたびは、お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくご覧のうえ、正しくご使用ください。
- 電源の工事が必要な器具については、専門の工事店におまかせください。
- 万一破損したり、異常を感じた場合は、速やかに電源を切りお買い求めの販売店にご相談ください。
- 電気工事店の方へ：取り付け工事が済みましたら、この説明書を必ずお客様にお渡しください。
- お客様へ：この説明書は必ず保管してください。
- 本品の規格及び外観は改良のため予告なく変更する場合がございます、ご了承ください。



Design by Ingo Maurer & Team

取り付けについての安全上のご注意

⚠ 警 告	
⚠	火災のおそれがあります ◇電気工事は、電気設備基準にしたがって確実に行ってください。 ◇電源接続の際は、取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。
	落下によるけがのおそれがあります ◇取り付けは取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。 ◇器具の取り付けは、取り付け場所の強度を確認し、質量に耐えるところに確実に行ってください。強度が不足している場合は、補強工 事をしてから取り付けてください。 ◇器具は指定の取付方向に取付けてください。
⚡	感電のおそれがあります ◇工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。 ◇アース工事が必要な器具は、電気基準設備及び内線既定にしたがって確実に行ってください。
⊘	落下によるけがのおそれがあります ◇取付部のまわりに極端な突出部のある所に、器具を取り付けないでください。

⚠ 注 意

- ◇電気工事は電気工事店(有資格者)におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
- ◇器具に表示された定格電圧以外の電圧で、使用しないでください。
定格電圧を越えた電圧でご使用になりますと**火災の原因**となります。
- ◇取り付けた器具を説明書に従わず無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。
器具落下によるけがの原因となることがあります。
- ◇灯具の着脱は両手で静かに扱い、取り付けは確実に行ってください。**落下によるけがの原因**となります。
- ◇調光器に対応していない器具は、調光器を使用しないでください。**火災の原因**となります。
- ◇この器具は屋内用器具ですが、風呂場等の湿気や水気の多い場所では使用できません。
屋外では使用しないでください。**感電・火災の原因**となります。
- ◇器具取り付けの際に、壁紙・クロス貼り等の接着剤等が十分乾燥してから器具を取り付けてください。
メッキや塗装等の**変色や、さびの原因**となります。

屋内用

目 次

テクニカルデータ [2ページ]
ヤヤホの取り付け手順 [3ページ]
設置場所の確認 [3ページ]

1 ワイヤー

固定金具の取り付け方 [4ページ]
ワイヤーの張り方 [5ページ]

2 トランス

トランスの取り付け方 [6ページ]

ワイヤーの張り方のバリエーション

長張り [7ページ]
天井張り [7ページ]
斜め張り [8ページ]

3 ライティングエレメント

取り付ける前に [9ページ]
ライティングエレメントの取り付け方 [9・10ページ]
ライティングエレメントの取り扱いのご注意 [11ページ]
ランプの交換方法 [11ページ]

故障かな？と思ったら [12ページ]
ヤヤホのお手入れとメンテナンス [12ページ]
使用についての安全上のご注意 [13ページ]
保守とお手入れ [13ページ]

テクニカルデータ

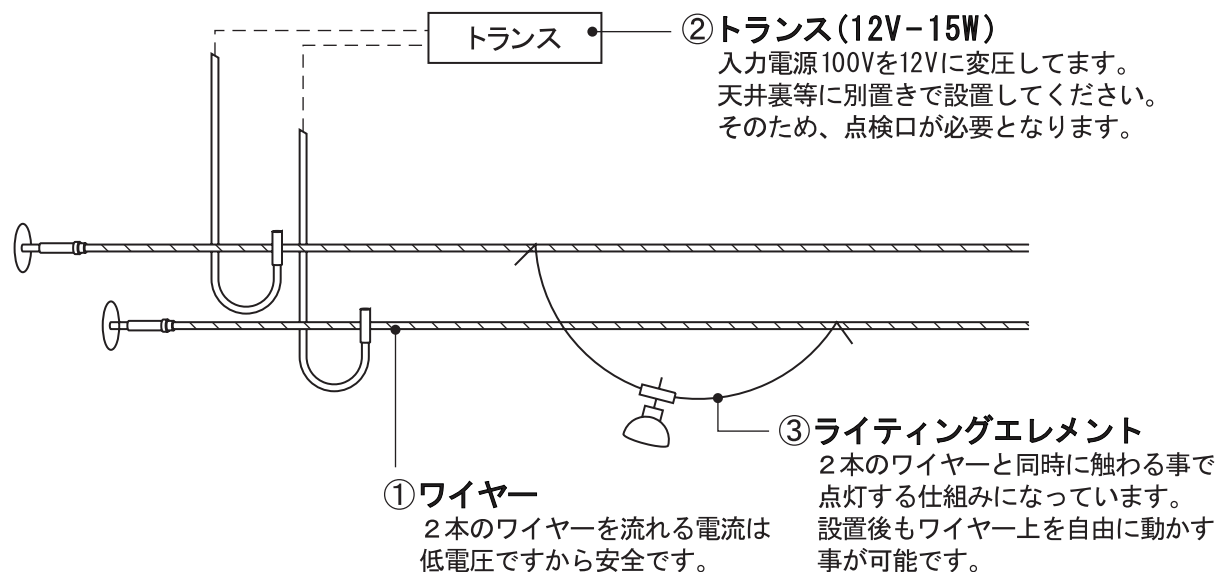
- 入力電圧 : AC100V
- 周 波 数 : 50Hz/60Hz
- 適 合 ラ ン プ : LED電球 12V7.5W GU5.3 [別売]
- 専用トランス : AC100V、50Hz/60Hz、47W [別売]
 - 二次電圧 DC15W
 - 二次電圧 3.3A

※ トランスは1台につき、LED電球1～4が使用可能です。
天井裏等に設置する別置トランスです。

※ 調光についてはお問合せください。

ヤヤホの取り付け手順

ヤヤホは〈ワイヤー〉〈トランス〉〈ライティングエレメント〉の3つの部分で構成されています。取り付けは、この順番に組み立てていきます。以下、各部に分け詳しく説明します。



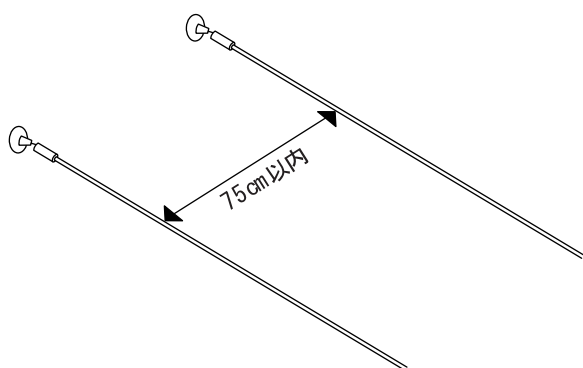
〈注〉 金属物(工具、ハサミ等)で、左右のワイヤーに同時に触れないでください。ショートの原因になります。

〈注〉 金属物のアクセサリなどをワイヤー及びエレメントに掛けしないでください。ショートの原因になります。

設置場所の確認

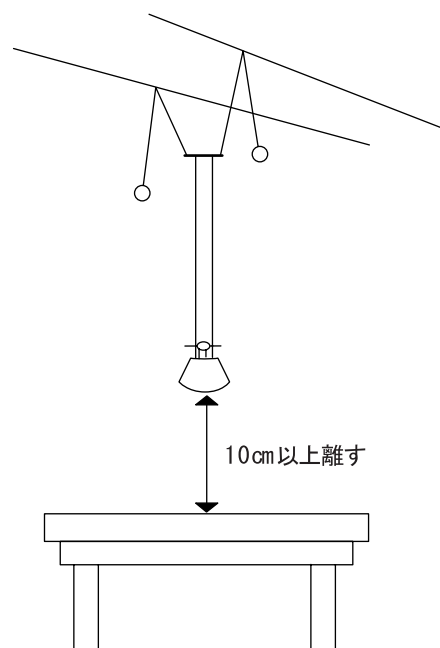
ワイヤーの間隔

2本のワイヤーの幅は75cm以内で設定されています。



ライティングエレメント

可燃物はLED電球から10cm以上離してください。



設置する壁の材質、強度

ワイヤーを取り付ける壁、天井の強度の補強が必要な場合、事前の工事が必要です。また壁が電導性の材質(スチール、ブリキ、パンチメタル等)の場合でも、ワイヤー固定金具についている「ワイヤースクリュー」が絶縁になっていますので、処理する必要はありません。

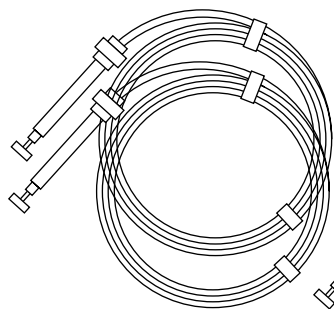
〈注〉 セッコウボードには取り付けできません。
(落下してけがのおそれがあります)

〈注〉 ランプシェードに可燃物をかぶせたり、近付けたりの使用はやめてください。(火災のおそれがあります)

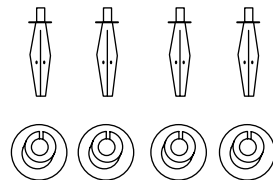
1 ワイヤー

部品名

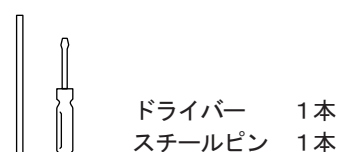
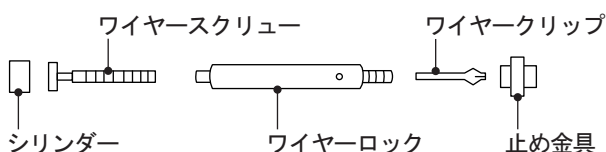
ワイヤー 2本セット (片側にワイヤー取付具のついたもの) 2本



ワイヤー取付具 2本



固定金具 4個
S 8 プラグ 4個 (ドリル径 8mm)
木ネジ (4.5 × 50mm) 4本

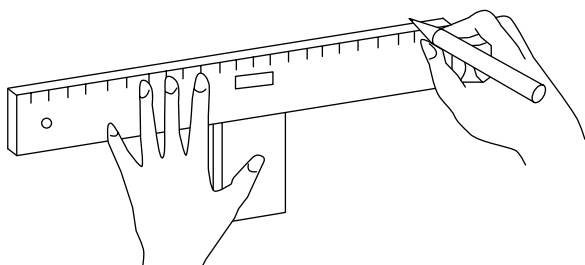


ドライバー 1本
スチールピン 1本

固定金具の取り付け方 セッコウボードには取り付けできません

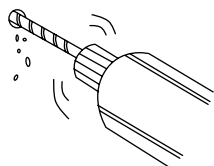
① 壁に印をつける

ワイヤーを張りたい場所にスミ出しスケールで印をつけます。(ワイヤーの間隔は、MAX750mm)

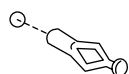


② ドリルで穴をあける (印の上に穴をあけます)

下地に適したネジを選び、ネジの径にあったドリル径で穴をあけてください。



※壁の下地がコンクリートの場合。付属のプラグを使用する場合、ドリル径 8mm で穴をあけてプラグを奥まで埋め込んでください。



③ 固定金具をネジでとめる

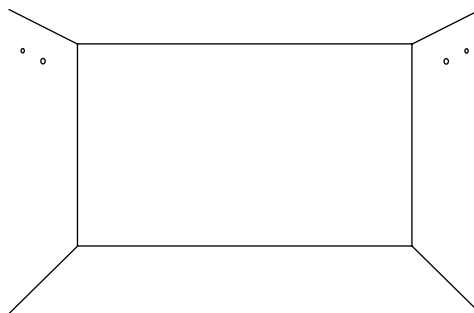
(壁の下地が木の場合は、木ネジのみで固定)

固定金具の開口部を上にし固定させ、ネジで緩めます。



④ 反対側の壁に固定金具をつける (壁付トランスの場合)

同じ要領で固定金具をつけます。

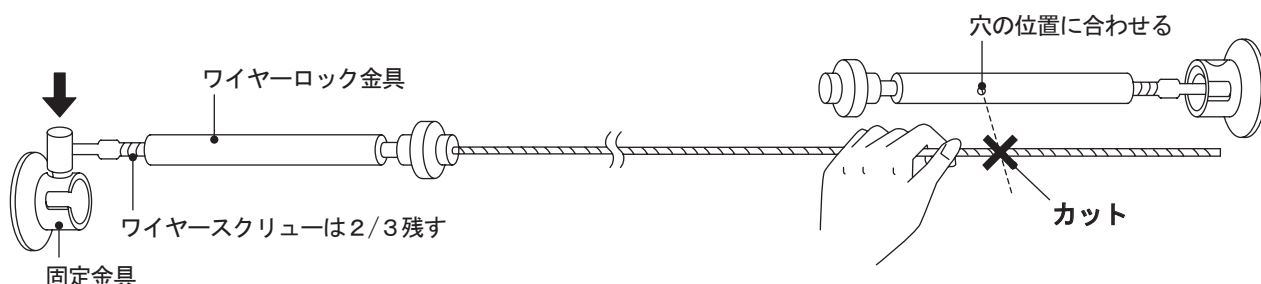


〈注〉 ●ワイヤーの強度を保つため、下地のしっかりしたところに必ずネジを水平に打ちこんでください。
●プラグ、ネジは壁の状態に適したものを使用して下さい。指定したとおり取り付けされないと落下の原因になります。

ワイヤーの張り方

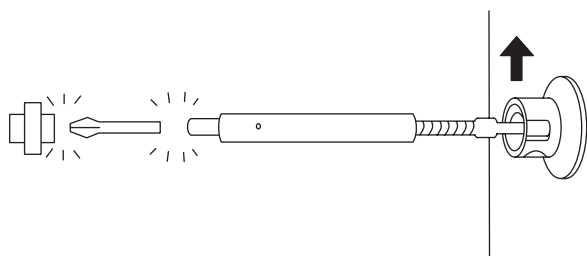
① ワイヤーに適した長さにカットする

ワイヤーとつながっているワイヤーロック金具にシリンダーを通したワイヤースクリューを入れ、シリンダーを固定金具の穴に上から差し込みます。反対側の固定金具にもシリンダーまでセットされたワイヤーロック金具を穴の上から差し込み、ワイヤーをピンとたるみなく手で引っ張り穴の位置でカットします。



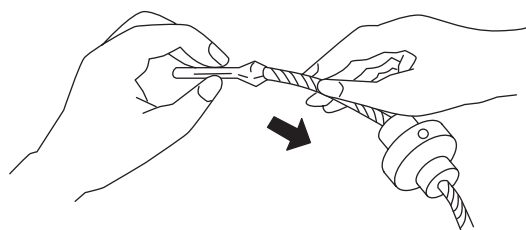
② ワイヤー取付具を分解する(①の右側)

いったん固定金具からワイヤーロック金具、止め金具を外しワイヤークリップを引き出してください。



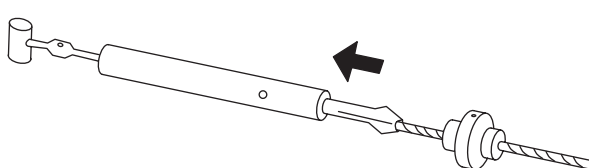
③ 止め金具にワイヤーを通す

はずした止め金具の穴に、カットしたワイヤーを通します。ワイヤークリップにもワイヤーを奥まで差し込みます。



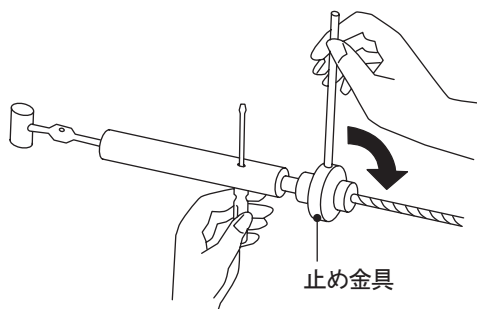
④ ワイヤーロックに差し込む

③のものをワイヤーロックに差し込みます



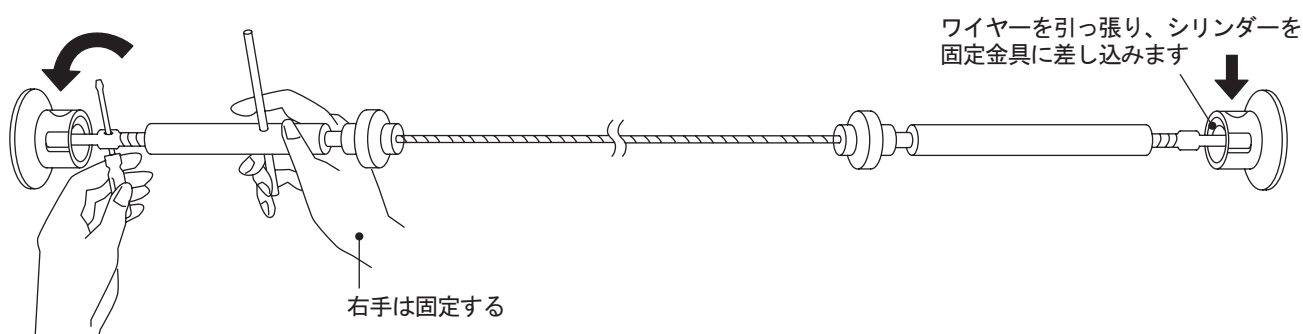
⑤ ワイヤーをしっかりと固定する

付属のドライバーをワイヤーロックの穴に通します。スチールピンは止め金具の溝に差し込み、時計回りにまわし、ワイヤーをしっかりと固定します。



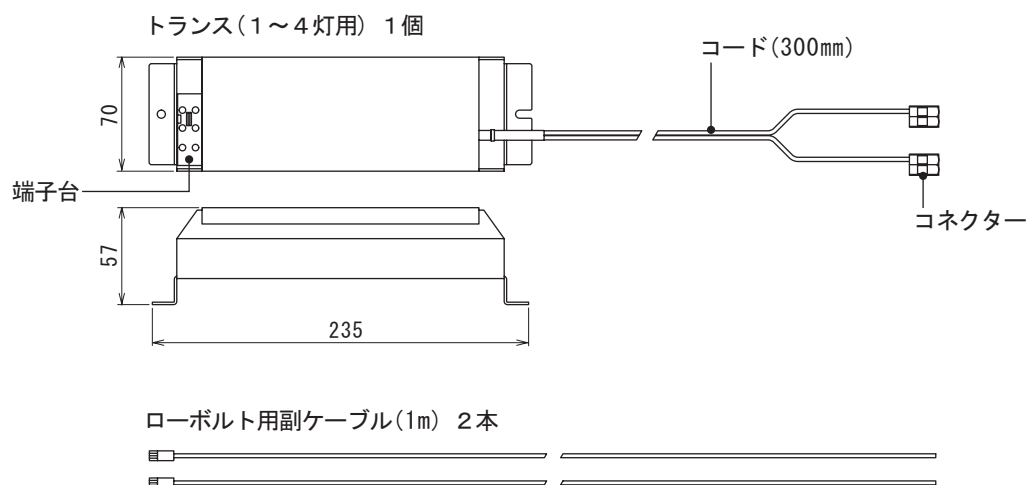
⑥ ワイヤースクリューを回してワイヤーをたるみなく水平に張る

スチールピンをワイヤーロックの穴に差し込みます。ドライバーはワイヤースクリューの穴に入れ反時計回りに回します。反対側もワイヤースクリューを回し張り具合を調整してください。



2 トランス

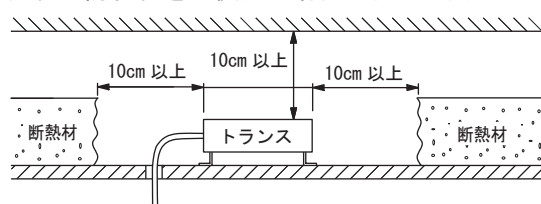
部品名



トランスの取り付け方

- このトランスはLED電球専用です。
1 台につきLED電球 1～4 灯が使用可能です。
- トランスは天井裏等に別置きで設置してください。
そのため、点検口が必要となります。
- 電源線 (別途) をトランスの設置場所に通しておいてください。

▶ 断熱材・防音材をご使用の場合の施工方法について ◀



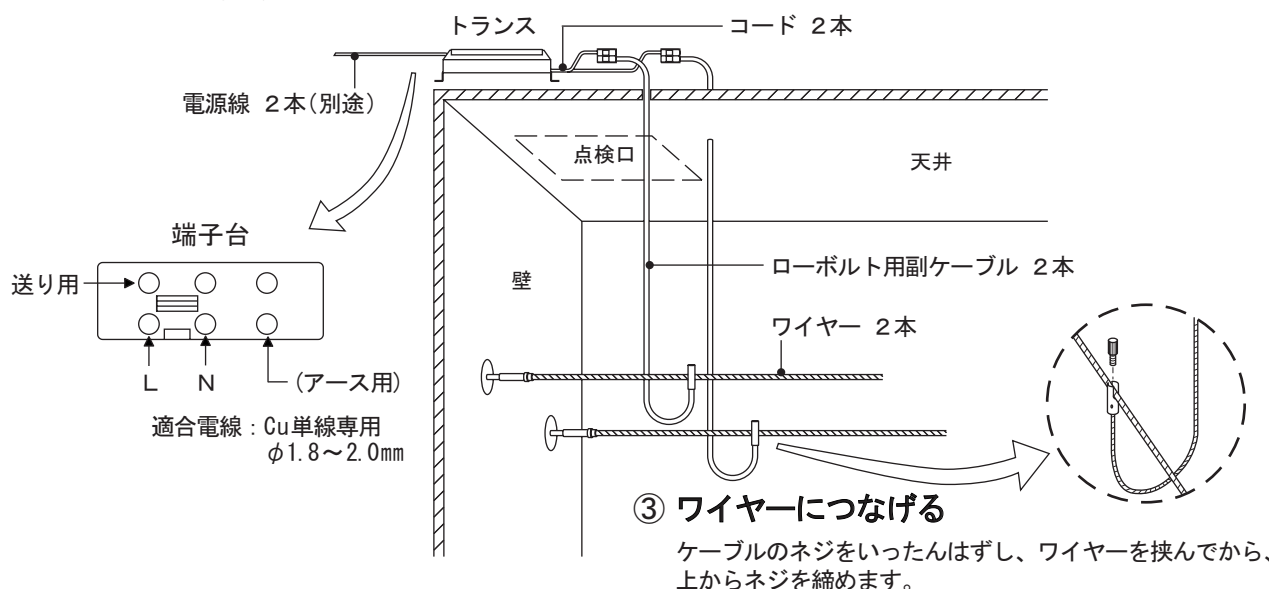
- ※ 住宅の断熱施工された天井には使用できません。
法律で禁じられています。
- ※ 住宅以外の建物に使用するときは、下図のように行ってください。

② ローボルト用副ケーブルをコードに接続する

副ケーブルは、ゆったりとした弧を描く長さにします。
コードの先端にあるコネクターに差し込んでください。

① トランスに電源線を接続する

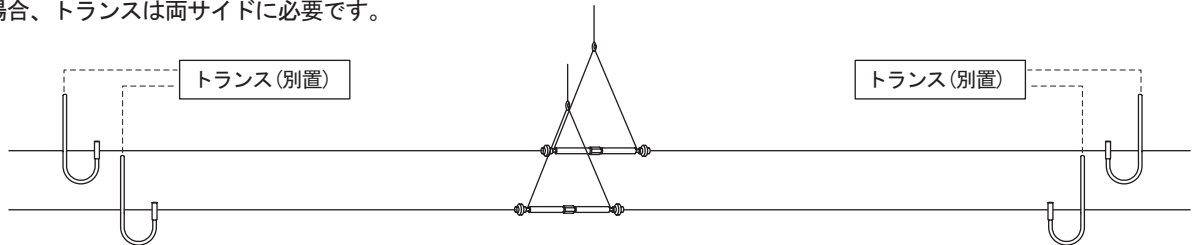
端子台のNとLに差し込みます。



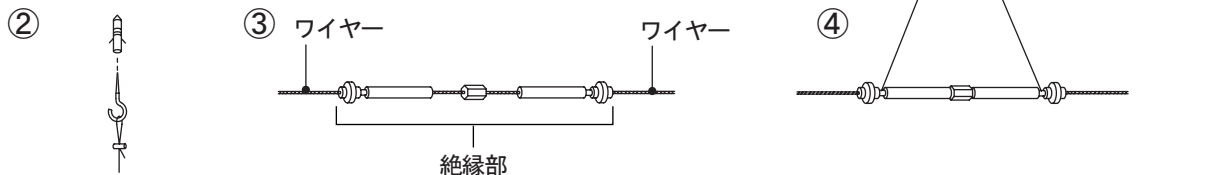
ワイヤーの張り方バリエーション

長張り

規定のワイヤーで長さが足りない場合は、絶縁部を取り付け別々の2本のワイヤーをつなげます。
この場合、トランスは両サイドに必要です。



- ① 絶縁部を吊るすフックの位置を決めます。
- ② 6mmのドリルで天井に穴を開け、プラグを差し込みフックをしめます。
(木下地の場合はプラグ不要)
- ③ 吊り下げワイヤーを調節用ワイヤーの締め具をフックの方へ引き上げながら調節します。
- ④ 調節用ワイヤーを望みの長さにし、締め具のネジを締めます。締め具から飛び出している余分な調節用ワイヤーをペンチで切ってください。



天井張り

ワイヤーを天井に取り付ける場合は、固定棒、固定金具を使います。



固定棒の取り付け

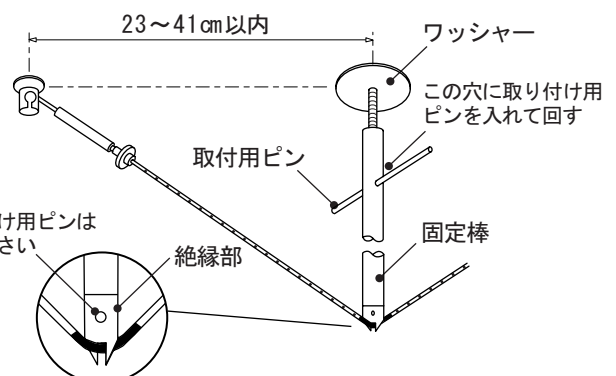
- ① 8mmのドリルで、4cm以上の深さの穴を天井に対して垂直に開けます。
- ② 開けた穴にプラグを差し込み、ワッシャーを入れ、取付用ピンで固定棒を締めます。
(この時、固定棒の先端の切れ込みが、ワイヤーを張る方向と同じになるようにします。同じになっていないとワイヤーを破損する恐れがあります。)

〈注〉 固定棒はワイヤーを張った時に外れないようにしっかりと天井に固定し、正確に垂直に取り付けてください。

注
この穴に取り付け用ピンは
入れないでください

固定金具の取り付け

- ① 固定金具は固定棒から23～41cm以内に取り付けます。
- ② ワイヤーを張る前に、赤い絶縁チューブをワイヤーに通してください。
(この時、固絶縁チューブが固定棒の先端の切れ込み部分にきちんと収まるようにしてください。)

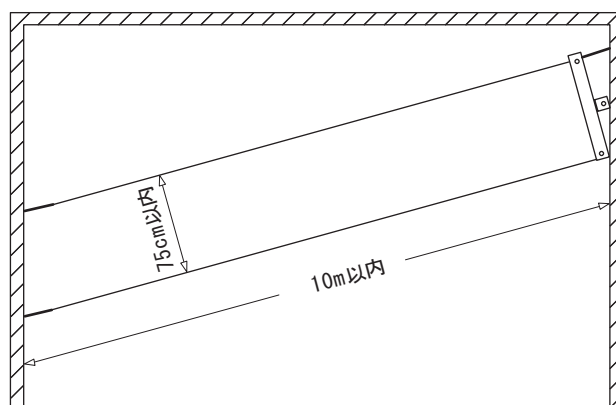
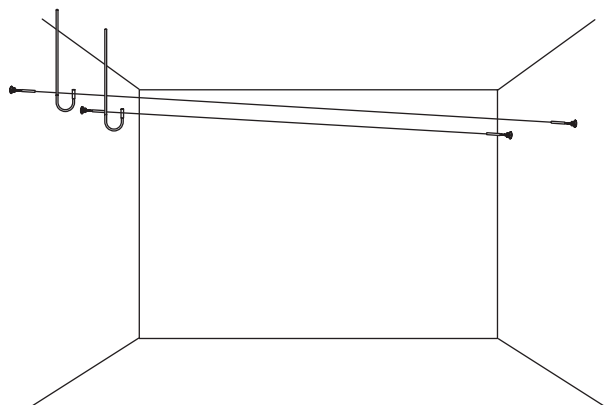


※ ワイヤーの詳しい張り方、取付方は前項を参照してください。

斜め張り

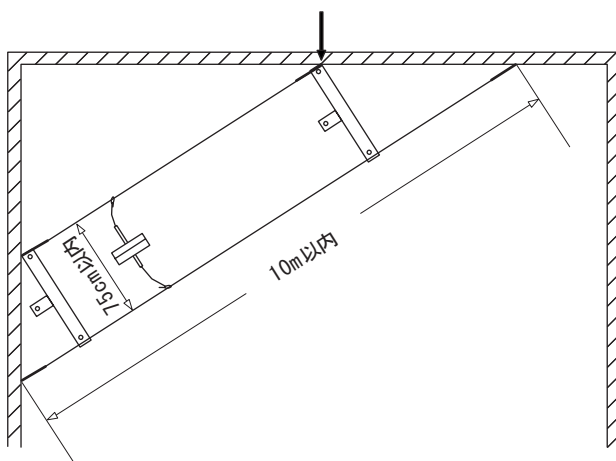
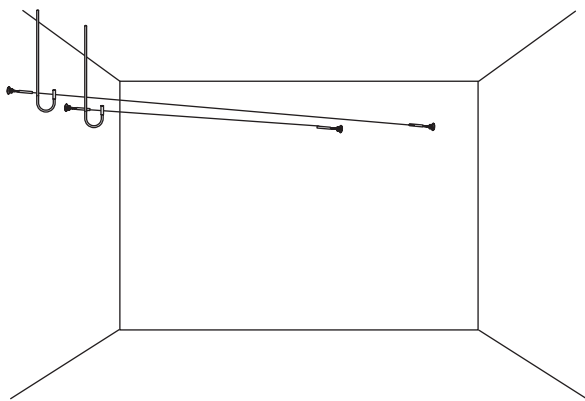
対面の壁の場合

2本ワイヤーの内1本のワイヤーの取り付け位置を決め、ワイヤーを張ります。このワイヤーをもう1本のワイヤーのガイドにし、2本のワイヤーの間隔を75cm以内にきめ、スミ出しスケールの目盛を使って、正確な間隔にします。



側面の壁の場合

2本ワイヤーの内側になるワイヤーから先に張ります。スミ出しスケールをワイヤーに直角に当て外側のワイヤーとの間隔を75cm以内に決め、決めた間隔になるようにワイヤーを水平に張ります。



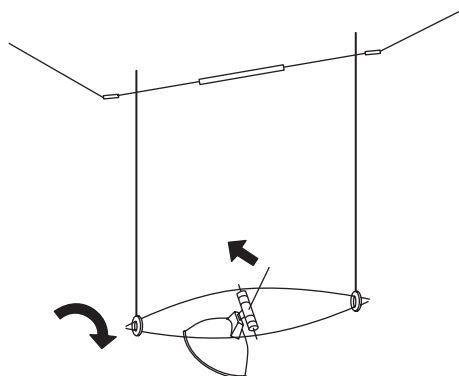
3 ライティングエレメント

取り付ける前に

- 電源は切っておく
- 金属物(はさみ、工具等)でプラスとマイナスの両極を同時にふれない

ライティングエレメントの取り付け方

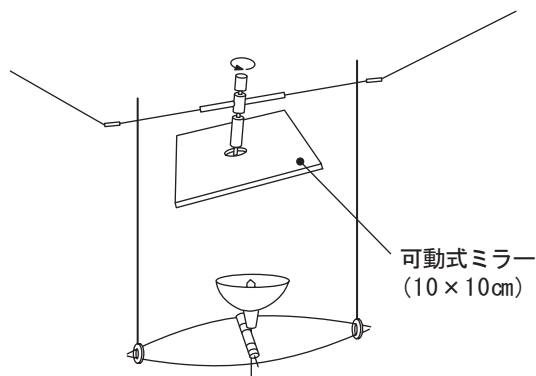
エレメント②



- メタル製
- LED電球12V7.5W 口金GU5.3
- 130cmのオモリ付ワイヤー 2本
- ランプ固定具用スプリングホルダー付

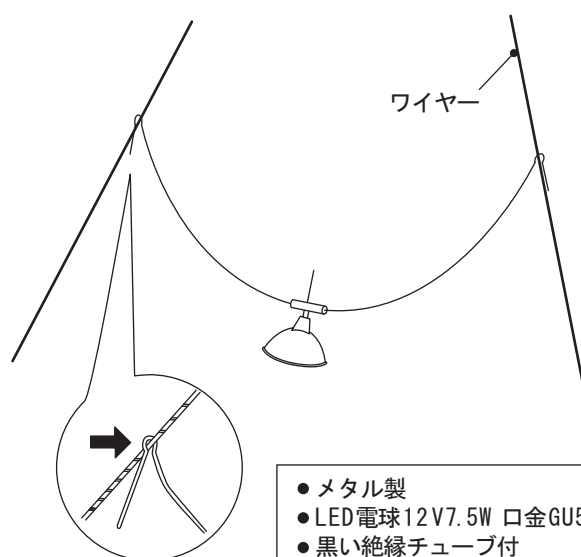
- ① オモリ付ワイヤーを張り渡したワイヤーに掛けます。
- ② あかりの方向を調整します。この際、赤く印の付いているピンを持って回します。

エレメント② / ミラー付



- ① ミラーの角度調節はネジを緩めて希望の向きに動かし、再びネジを緩めてください。

エレメント③

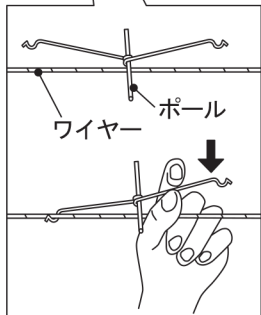
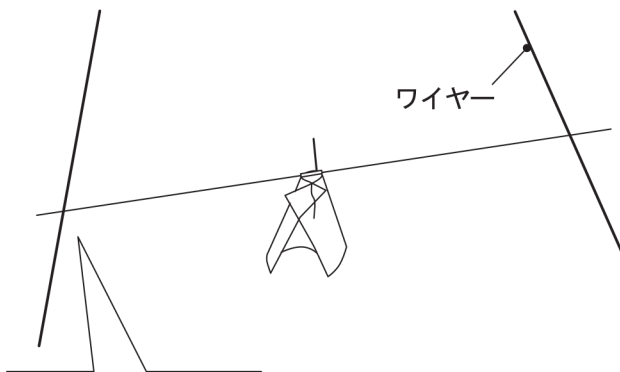


- メタル製
- LED電球12V7.5W 口金GU5.3
- 黒い絶縁チューブ付
- ランプ固定具用スプリングホルダー付

- ① エレメント③をワイヤーに掛けます。
- ② ワイヤーにかかるつけ根の部分を強く押し付け、止め金の凹部にしっかりと収まるようにする。

シェード(部品F)を用いる事もできます。
シェードの取り付け方はエレメント⑥と同様に

エレメント ⑥

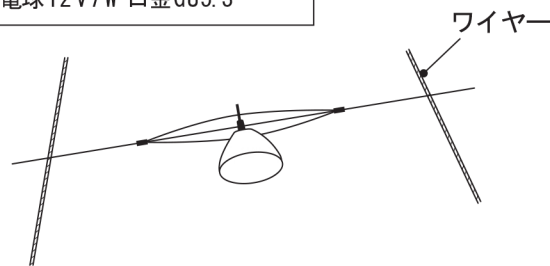


- メタル製
- LED電球 12V7.5W 口金GU5.3
- セーフティクリップ 2個
- ナチュラルカラーの耐熱シェード
- ランプ固定用スプリングホルダー

- ① エレメントをワイヤーの上に乗せます。
- ② スプリングは下から引っ掛けてください。

エレメント ⑬

- シリコン製のシェード
- LED電球 12V7W 口金GU5.3

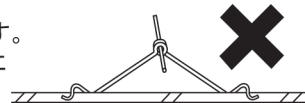


注意!!

ボールがワイヤーにしっかりあたるように固定してください。



この取付方法は**危険**です。
点灯不良や落下の原因になります。

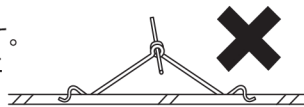


注意!!

ボールがワイヤーにしっかりあたるように固定してください。

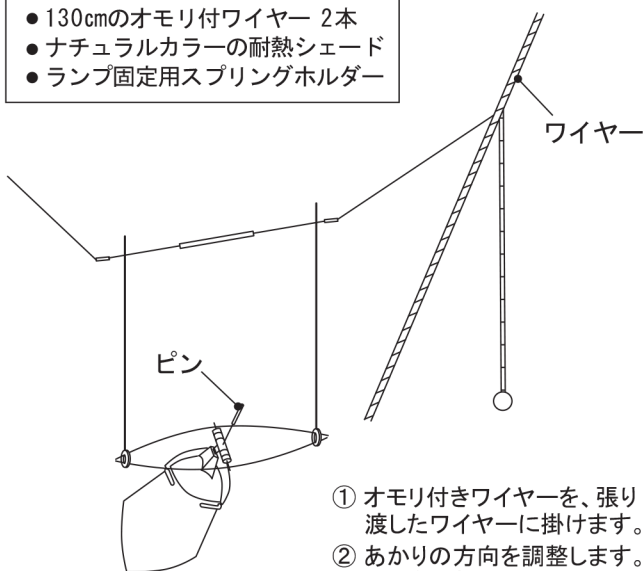


この取付方法は**危険**です。
点灯不良や落下の原因になります。



エレメント ⑦⑦

- メタル製
- LED電球 12V7.5W 口金GU5.3
- 130cmのオモリ付ワイヤー 2本
- ナチュラルカラーの耐熱シェード
- ランプ固定用スプリングホルダー



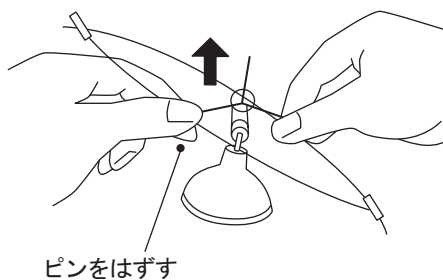
- ① オモリ付きワイヤーを、張り渡したワイヤーに掛けます。
- ② あかりの方向を調整します。この際、赤く印の付いているピンを持って回します。

ライティングエレメントの取り扱いのご注意

	取り扱いに注意すること		
	① オモリ付ワイヤーの接触	② セーフティクリップで固定	③ 赤又は白のピンを持って回転
エレメント ②	●		●
エレメント ② ミラー	●		●
エレメント ③			●
エレメント ⑥		●	●
エレメント ⑦	●		●
エレメント ⑩		●	●

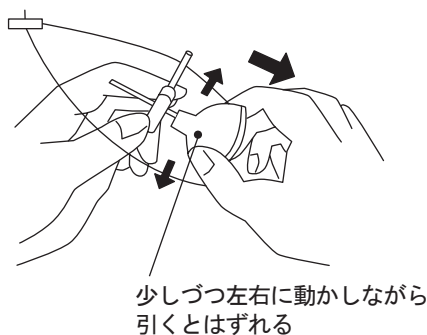
- ① オモリ付ワイヤーが相互に、あるいはライティングエレメントの一部と接触することは絶対に避けてください。
ショートします。(ヒューズが飛びます。)
- ② セーフティクリップで固定プレイヤーに固定します。
エレメントを移動のつどセーフティクリップを外し、また固定してください。
- ③ リフレクターは回転させる事が可能ですが、回転させる際は必ず赤く印の付いているピンを持って回して下さい。

ランプの交換方法



ランプ固定用スプリングホルダーを外し、ソケットの端の部分を持ってランプを取り外し、新しいランプに交換します。その際、ランプをしっかりと手で押え、軽く左右に動かしながら無理なくソケットにランプの2つの芯を入れるようにしてください。

ランプに触れる時には内側のコーティングされている部分に触れないように注意してください。交換後、再びスプリングホルダーでランプを固定します。スプリングホルダーはランプの縁を押えるように取り付けてください。



故障かな？と思ったら

システムのスイッチを入れても点灯しない時には、次の点をチェックしてください。

ライティングエレメントのW合計が30W以下か

➡ 定格容量30Wを越えている場合、トランスが破損します。越えている時は30W以下まで下げてください。

ローボルトケーブルが正しく接続されているか

➡ トランス横軸のネジの締め方、ケーブルクリップの固定。

ライティングエレメントが正しく取り付けられているか

➡ 本説明書9～10Pと照らし合わせ、確認してください。

全てのランプがソケットにきちんと収まっているか

➡ 収まっていない時は、きちんと収め直して下さい。

機器に接触不良が起こっていないか

➡ 接触不良が起こった部品を交換しなければなりません。どこの部分か確認してください。

ヤヤホのお手入れとメンテナンス

トランスとシーリングキャップ

水か中性洗剤で湿らせた布で拭いて下さい。
クレンザーは絶対に使用しないで下さい。

ワイヤー及びライティングエレメントのワイヤー

軽く水で湿らせた布で定期的に埃や油污れなどを取り払います。
汚れたワイヤーは電流の流れをそこなうことがあります。

〈注〉お手入れは、電源を切ってから行ってください。電球には触れぬよう注意してください。

〈お願い〉

- ライティングエレメントは指定トランス、ワイヤー等と使用することにより技術的安全性が保証されます。
- エレメントの加工、指定外トランス、ワイヤー等の使用、または不適切な取り付けによって生じた故障、事故に関しては弊社は責任を負いません。
- エレメント加工をご希望の際には、必ず事前にお問合せください。

使用についての安全上のご注意

⚠ 警 告



火災のおそれがあります

- 器具を布・紙等でおおったり、カーテン・揮発物等の燃えやすい物に近づけないでください。
- 器具及び取扱説明書に表示されている適合ランプ以外は、使用しないでください。
- 器具及び取扱説明書に表示されている電源電圧以外で使用しないでください。



感電・火災のおそれがあります

- 器具及び部品の改造をしないでください。
- 器具のすきまに、異物（金属類や燃えやすい物等）を差し込まないでください。



感電のおそれがあります

- 器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。
- 異常時（煙が出たり、変な臭いがする等）には、速やかに電源を切ってお買上げの販売店にご相談下さい。

⚠ 注 意

- この器具は屋内専用器具ですが、風呂場等の湿気や水気の多い場所では使用できません。屋外では使用しないでください。**感電・火災の原因**となります。
- 器具に水をかけたり、水の中につけて洗わないでください。**感電・火災の原因**となります。
- 器具の近くに温度の高くなるストーブや発熱体を置かないようにしてください。**器具の変形や火災の原因**となります。
- 点灯中及び消灯直後のランプ及びその周辺にさわらないでください。**やけどの原因**となることがあります。
- 器具の保守・お手入れ等で器具を回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。**器具落下の原因**となることがあります。
- グローブ、シェード及びランプの着脱は両手で静かに扱い、取付けは取扱説明書にしたがって確実に行ってください。取り付けが不完全な場合、**落下によるけが・物損の原因**となることがあります。
- 器具は定期的に（6ヶ月程度）保守点検をしてください。ネジや部品のゆるみ、損傷、着脱がないかお調べください。不具合があった場合はそのまま使用しないで、販売店に修理の依頼をしてください。
- 照明器具には寿命があります。設置後およそ8～10年経過しますと外観に異常が無くても内部の劣化は進行しています。3～5年に1回は、電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換ください。（一般に照明器具の寿命の目安は10年ですが、周囲環境温度等の使用条件に大きく影響されます。）

お 願 い

- ぬれた手で器具にさわらないでください。**感電の原因**となることがあります。
- ガラス・陶磁器類はこわれやすい材料です。お取扱いの際には両手で静かに行ってください。
- 器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー、ベンジン等の揮発物でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。**変色・破損の原因**となります。

屋内用

保守とお手入れ

⚠ 注意 必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因となります。

- 点灯中及び消灯直後のランプ及びその周辺にさわらないでください。**やけどの原因**となることがあります。
- 器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。**変色・破損の原因**となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたら、柔らかい布で仕上げてください。
- ぬれた手で器具に触らないでください。

インゴ・マウラー 日本総代理店

StudioNOI

スタジオノイ株式会社

107-0062 東京都港区南青山 2-18-2
竹中ツインビル B wing 2F
Tel. 03-5843-0260 Fax. 03-5843-0270
studio-noi.com